

令和4年(2022年)度年間授業計画表

学年	1	科・系	全学科	単位	2	教科	理科	科目	科学と人間生活
----	---	-----	-----	----	---	----	----	----	---------

使用教材	教科書: 高等学校 科学と人間生活(第一学習社) 副教材: ネオパルノート 科学と人間生活の学習ノート(第一学習社)								
------	---	--	--	--	--	--	--	--	--

学習目標	① 自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 ② 観察・実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。 ③ 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探求しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。								
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

単元と内容

1 学期	第I章 物質の科学 第1節 材料とその利用 第2節 衣料と食品	身近な衣料材料の性質や用途、食品中の主な成分の性質について理解する。
	第II章 生命の科学 第1節 ヒトの生命現象 第2節 微生物とその利用 第III省 熱や光の科学 第1節 熱の性質とその利用 第2節 光の性質とその利用	今の人間生活の中に、科学技術の発展がどのように貢献しているかについて理解し、科学と人間生活とのかかわりへの関心を高める。 熱の性質やエネルギーの移り変わりを学習し、エネルギーの利用法について理解する。
3 学期	第IV章 地球や宇宙の科学 第1節 自然景観と自然災害 第2節 太陽と地球	身近な自然景観の成り立ちと自然災害について、太陽の放射エネルギーや地球内部のエネルギーによる影響と関連付けて学習する。

評価

評価の観点		評価の趣旨
①	知識・技能	さまざまな自然現象について基礎的な知識を身に付ける。 理科の見方・考え方を習得し、見通しをもった観察や実験方法を身に付ける。
②	思考・判断・表現	身の回りの事物・現象を地球規模の環境まで視野に入れ、科学的、多面的、総合的に表現できる。観察・実験より、結果や考察を科学的に相手に伝えることができる。
③	主体的に学習に取り組む態度	さまざまな自然現象について意欲的に理解しようとし、科学的な見方や考え方ができる。

評価方法	①	②	③	年間時数
	○授業プリント ○定期テスト(年4回) ○小テスト ○実験レポート	○定期テスト(年4回) ○実験レポート ○発表	○振り返りシート ○発表 ○授業態度	予定
				70 時間
1単位=35H				

置賜農業 育てる能力	自己肯定感 主体性 生命 他者理解 協調性 知識技能 社会貢献
---------------	------------------------------------